

- 平成6年度決算認定から……………2~4
- 福祉と健康まつりから……………5
- シニア洋上セミナーから……………6
- 川柳北緯41° / 防犯で銀章受賞……………7
- 秋季火防演習 / 秋山遭難救助訓練から……………8
- 農業委員会 / 体カテストから……………9
- 第15回村民祭から……………10~11
- 特別寄稿 “蓬田村の皆さんへ”……………12
- 保健コーナー……………13
- 各課お知らせ……………14~16
- 行事予定 / み~つけた……………17
- けつばる蓬田人 / 戸籍の窓口……………18



10/29子ども会リサイクル活動

限りある資源リサイクルは活動費捻出にも一役!

11.
12月
1995

「立冬」十一月八日頃、冬の初めの日。冬とは終わりの、万物を収蔵すること。「小雪」十一月二十三日頃、小雪がちらちらと降る時期。「大雪」十二月八日頃、盛んに雪降り積もる時期。「冬至」十二月二十二日頃、太陽が最も南に片寄る日。夜が最も長い日。二十四節気である。稲刈りが終わり、自然の景観は黄菊、白菊、紅葉、末枯れ、落葉、時雨、霰、降雪と、矢のような早さではや年の暮を迎えた。ふりかえると「亥年は荒れる」を地でいった年としかいようがなかった気がする。しかし、村としてはどうやら大禍なく越年でできそうなのがせめてもの救いであろう。「塞翁が馬」とか、「吉凶禍福はあざなえる繩の如し」といわれる。今年の大荒れが新年の平安になれば幸いである。ここに村民各位の新年の限りないご多幸をお祈り申し上げます。

平成六年度決算認定される

普通会計歳出

締めて二十二億四千九百四万円



平成六年度決算は、九月定例村議会に提出され、九月十三日認定されました。

普通会計（一般会計と学校給食センター特別会計）において前年度決算と比較をすると、歳入で二・九％減、歳出で二・〇％の減となっています。これは、小学校道路の完成、蟹田地区のごみ処理施設の完成による補助費等の減によるものです。村の大きな一般財源である地方税が四・四％減、また地方交付税が二・四％の減となっています。

みなさんが納めた村税や地方交付税、国・県支出金などが、どのくらい入り、どのような形で支出されているかをまとめました。

※自治省調査資料に基づき作成していますので、実際の予算科目とは相違しています。

◇教育費

▶ **305,825千円(13.0%)**

- ・スクールバス購入…16,373千円
- ・小学校費……………45,143千円
- ・中学校費……………34,316千円
- ・幼稚園費……………28,749千円
- ・教員住宅建設償還金… 4,951千円
- ・学校給食費……………49,446千円
- ・スキー場管理費……… 3,472千円

◇災害復旧費

▶ **102,536千円(4.4%)**

- ・農地等災害復旧………48,032千円
- ・河川災害復旧………54,504千円

◇公債費

▶ **248,973千円(10.6%)**

- ・元金…………… 147,595千円
- ・利子…………… 100,550千円
- ・一時借入金利子……… 828千円

村民1人からいただいた村税(総額46,707円)の状況

村民税	法人税	固定資産税	軽自動車税	村たばこ税	※平成7年3月31日 現在人口 3,890人で算出
 15,160円	 856円	 25,532円	 1,194円	 3,965円	

● 入ったお金

依 存 財 源				自 主 財 源			
科 目	金 額	構 成 比	前年度と比較増減	科 目	金 額	構 成 比	前年度と比較増減
	千円	%	%		千円	%	%
地方譲与税	49,467	2.0	1.4	地 方 税	181,689	7.6	△ 4.4
利子割交付金	6,476	0.3	13.1	分担金及び負担金	2,977	0.1	△91.6
自動車取得税交付金	23,924	1.0	10.2	使 用 料	57,123	2.4	△ 5.9
地方交付税	1,363,941	56.9	△ 2.4	手 数 料	1,709	0.1	△ 3.1
交通安全対策特別交付金	1,779	0.1	4.6	財 産 取 入	33,881	1.4	17.9
国庫支出金	170,174	7.1	△ 3.4	寄 附 金	1,250	0.1	150.0
県支出金	169,351	7.1	10.0	繰 入 金	97,057	4.0	16.3
村 債	129,800	5.4	△27.7	繰 越 金	25,954	1.1	26.4
小 計	1,914,912	79.9	△ 3.6	諸 取 入	80,534	3.3	31.0
歳入合計 2,397,086千円				小 計	482,174	20.1	△ 0.1
				△ 2.9			

● 出たお金

区 分	決 算 額	構 成 比 %	前年度と比較増減 %
義務的経費	1,053,138	44.8	3.4
人件費	725,039	30.9	1.9
扶助費	79,126	3.3	△ 6.2
公債	248,973	10.6	11.6
投資的経費	570,108	24.3	2.6
1 普通建設事業費	467,572	19.9	△ 3.7
補助事業	234,332	10.0	△12.8
単独事業	233,240	9.9	7.7
2 災害復旧事業費	102,536	4.4	45.7
補助事業	98,222	4.2	45.9
単独事業	4,314	0.2	40.7
その他	725,792	30.9	△11.8
物件費	293,263	12.5	8.3
維持補修	37,708	1.6	7.5
補助費等	169,582	7.2	△25.7
積立金	187,395	8.0	△22.9
投資出資貸付金	2,997	0.1	△76.9
繰出金	34,847	1.5	7.3
歳出合計	2,349,038	100	△ 2.0

◆ 目的別に見た歳出

◇ 議 会 費

▶ **66,496千円(2.8%)**
 ・議員報酬……………34,457千円
 ・議員活動費…………… 9,215千円

◇ 総 務 費

▶ **512,242千円(21.8%)**
 ・積立金(財調・減債等)…144,100千円
 ・交通安全対策…………… 3,021千円
 ・公立大学負担金…………… 2,489千円
 ・蓬田駅前自転車小屋設置 …… 831千円

◇ 民 生 費

▶ **236,616千円(10.1%)**
 ・ホームヘルプ事業委託金…52,000千円
 ・老人保健特別会計繰出金 ……69,648千円
 ・児童福祉費……………78,111千円

◇ 衛 生 費

▶ **169,473千円(7.2%)**
 ・ふれあいセンター費 ……42,613千円
 ・地区環境整備組合負担金 ……40,687千円
 ・老人保健事業……………19,380千円

◇ 労 働 費

▶ **714千円(0.0%)**
 ・労働者協議会補助金… 135千円

◇ 農 林 水 産 業 費

▶ **314,052千円(13.4%)**
 ・水田営農活性化対策… 9,690千円
 ・農免農道整備事業…21,150千円
 ・ふるさと農道……………39,575千円
 ・冷害地域緊急整備対策事業…50,095千円
 ・村有牛購入…………… 2,122千円
 ・森林総合整備事業…11,176千円
 ・滝沢林道整備…………… 4,269千円

◇ 商 工 費

▶ **8,927千円(0.4%)**
 ・商工会補助…………… 800千円
 ・観光協会補助…………… 2,000千円

◇ 土 木 費

▶ **283,833千円(12.1%)**
 ・郷沢2-1号線道路改良… 104,962千円
 ・玉松園カントリーパーク ……47,671千円
 ・村道補修側溝改良…13,547千円
 ・中沢川改修……………40,266千円
 ・河川等維持工事…………… 2,067千円
 ・除排雪経費……………15,763千円
 ・住宅電気設備等工事 …… 3,245千円

◇ 消 防 費

▶ **99,351千円(4.2%)**
 ・コミュニティセンター建設…23,945千円
 ・警鐘台建設事業…………… 3,662千円
 ・広域消防負担金……………49,678千円

村民1人に使われた村のお金(総額603,866円)の状況

総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	土木費	教育費	公債費	議会費	労働費	商工費	消防費	災害復旧費
131,682円	60,827円	43,566円	80,733円	72,965円	78,618円	64,003円	17,094円	184円	2,295円	25,540円	26,359円

国民健康保険特別会計
収支決算

○国民健康保険特別会計

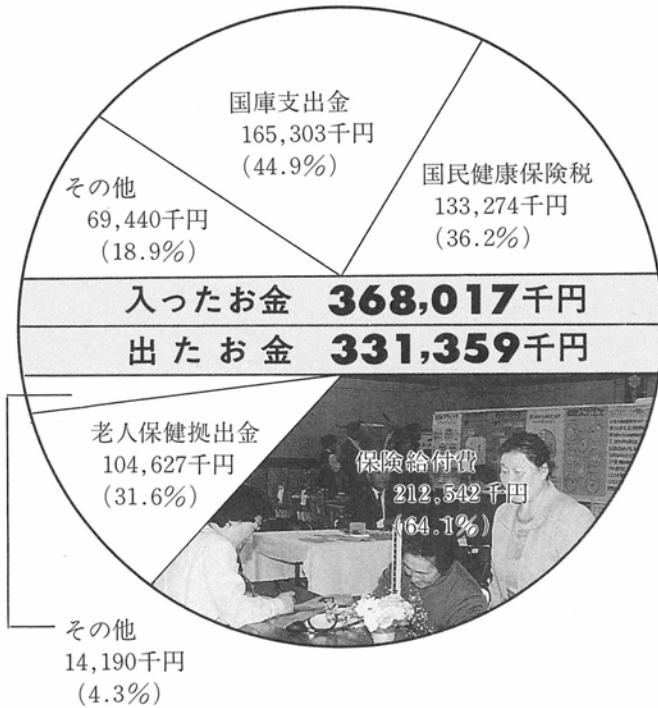
・平成6年
国保税収入額
133,274千円

加入者からいただいた国保税	
一世帯当たり	211,882円
一人当たり	76,375円

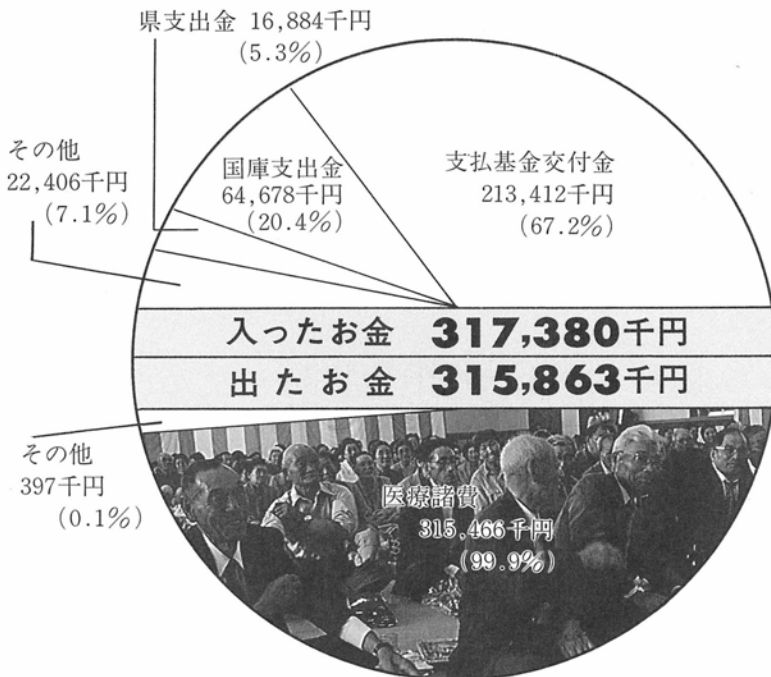
・平成6年
医療費支払額
212,542千円

加入者に支払った医療費	
一世帯当たり	337,905円
一人当たり	121,801円

※平成7年3月31日現在
・加入世帯 629世帯
・加入者数 1,745人



老人保健特別会計
収支決算



○老人保健特別会計

・平成6年度
医療費支払額
315,466千円

医療受給者に支払った医療費	
一人当たり	605,501円

※平成7年3月31日現在
・加入者数 521人

福祉と健康まつり

ますます内容充実!



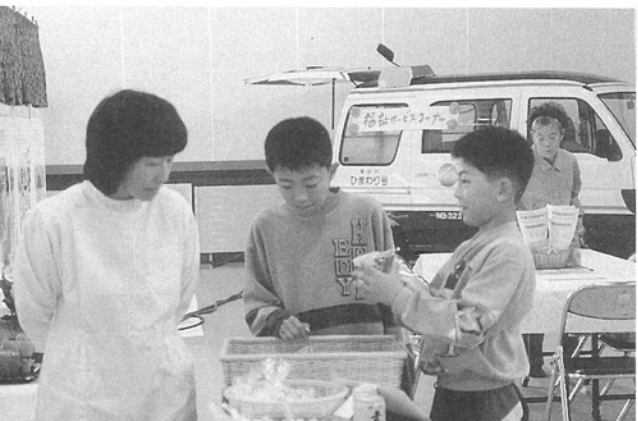
十月二十一日から二十二日の二日間、「ふれあう福祉・めざせ健康」をスローガンに第二回福祉と健康まつりが農業者トレーニングセンターにおいて開催され、大勢の人が会場を訪れ賑わいました。

初日は、本誌の健康コーナーに「蓬田村の皆さんへ」と題し執筆されている金沢善智先生の講演。また、むつ保健所長椎葉茂樹先生の講演の他、村の在宅介護の状況についての問題提起や意見交換がされました。また、展示会場では介護用品の展示や実演、歯科保健、食生活改善、機能訓練教室作品展示、はまなすの会作品展示、健康相談の他たくさんの方のコーナーが設置されました。

二日目は、タレントでありコント作家でもある、はかま満緒氏が「人生は、楽しく、健康に、そしてイキイキと」と題して講演し、経験豊富で

ユーモア溢れる話に参加者は熱心に聞き入り、二時間の時間もあっという間に過ぎました。午後は、暮らしに生かす介護教室として、青森保健所技師、木村美穂子先生の講義と、同じく青森保健所技師、福島真樹先生の実技がありました。

福祉の充実や、やがて訪れる高齢化社会に向け、参加者は内容豊富な福祉と健康まつりで、有意義な二日間を過ごしました。



シニア洋上セミナー



張間 キヨ（長科）さん



久慈ゆき系（瀬辺地）さん

洋上セミナーに参加して

張間 キヨ

あおもりシニア洋上セミナーが七月二十一日から二十四日まで三泊四日の日程で行われ、村行政のご配慮のおかげで参加することができました。セミナーは豪華客船「にっぽん丸」で青森から東京間を航海するもので県内六十歳以上の男女三百十余名が参加しました。

ただし、胃袋の小さくなった私にとって全部食べられなかったのが心残りでした。翌朝五時、波はおだやかで美しい日の出を拝み、六階スポートデッキにおいてさわやかな潮風に気持ちもさっぱり、朝の体操で一日が開始され、朝食のテーブルもなごやかな気分で和食を頂きました。

洋上研修

にっぽん丸に乗船して想像以上の大きさ（二万二千トン）と豪華さには感動しました。出航式には県内市町村長（坂本昭巳蓬田村助役出席）が多数ご出席して下さい私達は励ましのお言葉を頂戴し感激しました。五色のテープが延々と続く中、にっぽん丸「ふれあいの旅いつてらっしゃい」の大きな横断幕が掲げられ、日の丸と県旗が振られドラの音と花火を合図ににっぽん丸は滑るように出航。いつまでも心に残る光景でした。

この日は、団長の村井青森県副知事の講話で始まり「青森県をもっと元気にもっと楽しく」と題して、歯切れのよい話し方と若々しきで私たちを引き付けました。その後のいきいき講座は五つの部門に別れており、私は趣味も少ないのでスポーツ講座を申し込んでおきました。六階のスポートデッキで参加した団員四チームに分かれ多種多様な種目にいい汗をかきました。昼食後は、鱈ヶ沢町の永昌寺住職、田端義宏氏の講演があり、その中で「福祿寿」天寿とはいったい何歳なのか、人間の寿命は成長期二十歳の五倍

下船後の研修

この後、船内の大浴場で入浴しましたが洋上とは思えないホテルのような感じでゆつくりと体を暖めることができました。

オリエンテーション組別会議交歓交流会が終了後、夕食となり十二班の方四名とテーブルにつくと、すばらしいフランク料理が次から次へと運ばれボーイのサービスも満点で

の寿命を持つている。一怒一老六十歳になったら福づくりにつとめ、花の命は短くしておれて福とは良い人間関係です。笑う門には福来るを念頭に明るい生活に心がけましよう」と話しました。

二十三日、にっぽん丸で最後の朝食を終え各組ごとに下船し、バスに分乗し江戸東京博物館に向いました。博物館は東京の歴史とそこに暮らす



人々の生活や文化を凝縮し展示して、特に見どころは五階から六階の常設展示室で各種資料の他江戸時代そのままに復元された日本橋など五十五点の大型模型には足が釘

付けになりました。最後の宿泊所は鬼怒川温泉 鬼怒川観光ホテルでした。十時八時から夕食交流会が始まり船上フィステバルの続きのよううで歌あり踊りあり合唱に手

踊の入った芸ありで時間を忘れて語り合いました。また、この日は鬼怒川祭りで花火や芸子さんの「みこし祭り」のねじり鉢巻、揃いの半天、威勢のよい掛け声に圧倒され、いい時期にこれた事に満足しました。

最後に

最後の研修は栃木県藤谷町にある微笑の楽園東武ワールドスクウェア見学で、世界中の有名建造物が二十五分の一のミニチュア、人も七センチの大きさに作られ、住人のよううで、それは、名前のごとく夢一杯の微笑みの楽園でした。

東風風ぎ
東風には
二八〇を
東風吹き

心も晴れて
お天道様も
下れば東風
心の中も

笑顔出る
雲隠れ
今日も又
しめつばい

重彦・雪よりも
千恵子・作柄も
咲子・釣り友も
悦子・ストーブが

東風の寒さ
いつも東風に
自然に勝てず
恋しい東風

身にしみる
泣き笑い
陸で釣る
今日も吹き

森 榎 栄 子
勝 博 子

やって来ました忘年会シーズン。カラオケ何歌おかなあ：演歌にすつか、それとも、ま、いっか、どうでもいっか。

JR蓬田駅から

JR東日本では新幹線輸送サービスをメインテーマとして東北新幹線のダイヤの全面改正を、

12月1日(金)

から実施します。詳しくは蓬田駅へどうぞ
11月9～10日に予定しました蓬田村民号くつろぎの旅は諸般の事情により中止としました。ご愛顧ありがとうございました。

防犯に貢献!

坂本秀行(長科)さん



蟹田地区防犯指導隊副総隊長坂本秀行(長科)さんが、警察庁長官・財団法人全国防犯協会連合会長連名表彰銀章(県下で二名)を受賞しました。伝達式は、十月二十三日、弘前文化会館ホールで開催された地域安全青森県民大会の席上行われました。栄えある受賞おめでとうございます。

秋季火防演習



十月二十九日(日)村消防団(吉田初男団長)の秋季火防演習が実施されました。

訓練は、午前八時三十分から、「蓬田地区船あげ場より火災発生」の想定で行われポンプ車が出動。現場では管下分団長指揮のもと団員がポンプ車を誘導、ホース管の中継から放水と、きびきびした行動で素早い消火活動を繰り広げました。

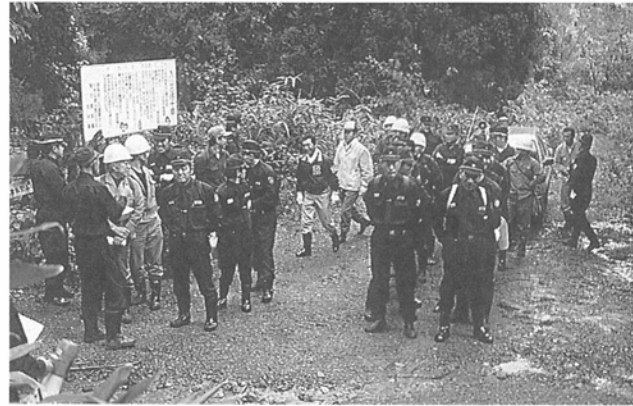
演習後は、ポンプ車八台で

村内をパレードし秋の火災予防を呼び掛けました。

村では平成七年度中に、災害時における円滑な情報の収集・伝達ができるよう地域防災無線システムを設置します。

年末は特に火の取扱いが多くなります。火災は大事な財産ばかりでなく生命までも奪います。みなさん火災予防に努めましょう。

秋山 遭難救助訓練



十月二十日(金)山岳遭難防止対策協議会蟹田支部は、秋山遭難救助訓練を阿弥陀川上流国有林(赤倉、大倉岳登山道分岐点付近)で実施しました。

訓練には、牧健一郎蟹田警察署長を対策本部長とし蟹田警察署、蓬田村消防団を初め上磯地区の各町村消防団、役場、蟹田営林署、増川営林署で編成、総勢五十名が参加しました。訓練の想定は「きのこ取りにでかけたが午後五時を過ぎても帰宅せず、家族は警察署に連絡、警察署では夜

十時まで捜索したが未発見で捜索を打ち切り、翌日捜索の協力要請を受けた各団体が捜索隊を編成し捜索する」というもので、午前九時四十五分から吉田初男村消防団長を訓練総括責任者とし、越田悦夫副団長を一班の班長、高田重義副団長を二班の班長に捜索訓練が開始されました。隊員は、ロープと木の枝を利用して担架を作るなど真剣に取り組み、午前十一時に訓練が終了しました。





ご結婚おめでとう

蓬田村農業委員会から



東青若者交流会で、みごと二組のカップルが誕生しました。平成二年度に東青地区農業委員会連絡協議会主催で、若者交流会を実施して以来、当村では初めてのカップル誕生です。

川崎憲二君、高田恵美さん、また福井明彦君、小鹿智美さん、ご結婚おめでとうございます。

末長い幸をお祈り申し上げますとともに、当事業への先輩としてのご指導ご協力をお願いします。

農業委員会としてもファイトが出てまいりました。村内独身男女の方、年二回若者交流会を実施しておりますので、多数の参加者をお待ちしております。

体カテストとグランドゴルフ大会



グランドゴルフ

“スポーツの秋”健康づくり事業の一貫として村教育委員会と村体育協会（八幡敏雄会長）は、10月29日（日）体カテストと第3回グランドゴルフ大会を農業者トレーニングセンター及び総合運動場で開催し、子供から高齢者までおよそ70名が参加しました。

体カテストが行われたトレーニングセンターでは、壮年の男女が測定種目の握力や垂直とびの他、動きの激しい反復横とびやジグザグドリブルに息を弾ませ挑戦しました。

また、屋外のグランドゴルフ大会は、午前10時から競技を開始。5～6名のグループで8ホールセットされたコースに出ると、あちらこちらから掛け声や喚声が上がりました。

参加者は、体カテストとゲームの心地よい汗で“スポーツの秋”を満喫していました。



体カテスト
反復横とび

テーマ**21**世紀に向けて

第15回

蓬田村民祭



「二十一世紀に向かって、明るく豊かなふるさとをつくろう」をテーマに第十五回蓬田村民祭（運営委員長、坂本祐一）が、十一月三、四日（金、土）農業者トレーニングセンターで開催され連日、大勢の人で賑わいました。

文化展・産業展

文化展と産業展は三日、午前十時から公開され、パネルで仕切られた各コーナーには絵画、書、手芸の他、川柳、文化財、盆栽、陶芸、生け花等（出展数三九七三点、出展者七三八人）会場狭しと作品が展示され訪れた人の目を樂がせました。また、子供会コーナーでは子供たちによる綿アメとヨーヨーの販売が行なわれました。

村農業協同組合主催の農産物共進会には、桃太郎トマト、ネギ、大根、玄米の他、各種農産物が出品されました。

四日は、午前八時三十分から始まり、前庭で商工会とスタンプ会がスタンプ交換会を行い、漁業協同組合がホタテやイカ焼きの試食や魚介類を格安で販売。入り口脇では、農業青年経営者協議会が、キ



▲陶芸コーナー



▲子ども会コーナー
▶母親クラブコーナー





お茶のお持て成しは翡翠会



ヤベツやニンジン、ゴボウ等、野菜の即売会を行い、開始と同時に大勢詰め掛け大盛況でした。

センター内の小コーナーでは、母親クラブが、昔懐かしいクジ引きやフランクフルトの販売。また、商工婦人部や農協婦人部その他、各地区の生活改善グループが、自慢の手料理の試食や漬物の販売、手作りハーブクッキーやハーブ苗の販売をしました。

また、村連合婦人会が、研修室で食堂を、村母親クラブが喫茶コーナーを開設。茶道の翡翠会は、訪れる人にお茶の持てなしをしました。

アトラクション

午後一時からセレモニーが行われ、坂本祐一運営委員長と八戸良次郎村長があいさつを述べました。

アトラクションでは、民謡の長谷川三弦会の唄と地方に合わせて石川流の手踊りが披露され、子供から大人まで入れ代わり立ち代わりの見事な手踊りに観衆は盛大な拍手を贈りました。その後、お楽しみ抽選会を行い二日間の村民祭を終了しました。



▲民謡を披露した青木定雄(アミダ川)さん



▲手芸コーナー

「特別寄稿（蓬田村の皆さんへ）」

皆さんは今住んでいる自分の家に一生住めると思っていますか？

弘前大学医療技術短期大学部 金沢 善智

はじめに

皆さん元氣におすごしでしょうか。九・十月号では、トイレの改造にまつわるお話でしたが、今月は、十月二十一日に行われた健康づくり大会での金沢先生の講演「障害があっても寝かせきりにしないための住宅改造」を思い出して読んでいただきたいと思えます。年をとってもやはりあづましいわが家で暮らしたいという皆さんの願いもかなえられますように。

第5回

もう一年だけでいいから 自分の家で暮らしたい夫婦の話

県南のある町の保健婦さんからの電話で、このお話は始まりました。電話の内容というの、その町に二人だけで暮らしている夫婦のことでした。この夫婦、旦那さんは七十六歳で十五年前に脳卒中で

倒れ、右半身がまったく動きません。家の中では車イスを半分、杖を使ったり壁などにつかまっでの歩行が半分の生活でした。奥さんは七十二歳で彼女自身も十年ほど前よりパーキンソン病という、手足が固まって歩くどころか動くのもままならなくなる難病になってしまいました。もちろん旦那さんの看病はしたくてもできず、自分のことさえも日に日にできなくなっていました。

しかし、今度は旦那さんの方が体力的に衰えが目立ち始め、調子の悪いときは車イスを使わなければトイレにも行けないようになりました。この辺が限界かも知れないというところで、町側も「特別養護老人ホーム」への入居を勧め

ました。五年ぐらい前からは、奥さんの体の動きが特に悪くなってしまい、普通なら、この時点で「特別養護老人ホーム」への入居、ということになったでしょう。

この夫婦には、「どうしても

ましたが、「あと一年でいいから、二人で暮らしたい。」と保健婦さんに手を合わせる二人でした。きっと、盆と正月に嫁ぎ先から帰省する娘さんとお孫さんのために、二人は何度廊下で転んでも、どんなに日常の生活が不自由でも、歯を食いしばって暮らしていたのでしよう。あと一年という願いをどうにかしてかなえてあげたい、そういう思いで保健婦さんから私への電話でした。

ベットから車イスへ移ってみましょう！



村内伝言板

人間ドックに
脳のCT写真が
新しく入りました。



- 村では働きざかりの40才・50才の皆さんを対象に、11月～12月にかけて蟹田町立病院において短期（日がえり）人間ドックを行います。各地区を巡回しての総合健診を都合が悪く受けられない人は、この機会を利用し、健康チェックを行いましょ。
- 今年度は、蟹田町立病院にCT写真（超音波断層撮影）がとれる機械が設置されたこともあり、従来の健診内容に脳のCT写真を新しく加えることになりました。脳卒中の引き金となる動脈瘤・脳梗塞、又、脳腫瘍等の早期発見につながりますので、ぜひこの機会をのがさず受診しましょ。日程は、直接病院と申し込んだ本人とで話しあって決めますので、都合のよい日を選んで下さい。
- 詳しくは、役場民生課保健係までお問い合わせ下さい。

※今年度の対象者

- 昭和20年1月1日～
昭和21年4月1日生れの男女
- 昭和30年1月1日～
昭和31年4月1日生れの男女

※今年度の実施日

- 平成7年11月27日～12月15日

※費用

- 個人負担金 5,000円
（村負担 約43,000円）

※募集人員 50人（先着順）

- ※内容：身体計測・胸部X線検査・胃十二指腸検査・大腸癌検査・腹部超音波検査・内科外科診察・血液検査・歯科健診・脳のCT写真 その他

が出せるお金は、わずかの年金からの六万円が限界でした。六万円は材料費で消えてしまいい、結局半日以上の大工さんの手間賃は、事情を知った大工さん側が請求しませんでした。実は材料費も、大工さんが製材所などに掛け合って、普通なら倍近いものを手すり代も含めて六万円におさめてくれたのです。町側もホームヘルパーの派遣日を一日増やし、保健婦の巡回回数も三倍にしました。その結果、それから約一年四ヶ月の間、二人は自分の家で暮らすことができました。そして、町の方や大工さんに感謝しながら、特別養護老人ホームに入居しました。

ここで大切なのは、「自宅を暮らしたい」というささやかな、しかし人間として当然な願いに対して、町側が正面からできる限りの努力をしていくということ。大勢の中の一つの点になってしまいがちな住民一人一人に目を向け、行政を行っていくことは並大抵のことではないとは思いますが、そうしなければ高齢化社会は乗り切れません。また、経済的にもこの夫婦は町にずいぶん貢献したことになります。一人の人が特別養護老人ホームに入居すると、町から一年間に約三百万円を払うこととなります。この夫婦は一年四ヶ月の間がんばったのですから、町のお金を約

八百万円節約したことになります。それに比べ、住宅改造にかかるお金は、よほど大きな機器類を入れなければ、せいぜい二十万円です。この住宅改造費用の十万円から二十万円ぐらいを、貸すのではなくて村で助成し、住宅改造をどんどん行い、村のお金をどんどん節約しませんか。そして村の財政節約に貢献しましょ。最終的に、特別養護老人ホームに入居するにしても、みんなに感謝して笑顔で入居できるようにしていこうではありませんか。もちろん特別養護老人ホームでも楽しい生活が待っています。この夫婦も現在、達者でホームの生活を楽しんでいます。

出入りしやすくする為に、手すりを取りつけます。



この身体障害者を対象とした「住宅改造の助成制度」をこの蓬田村で始めましょ。全国的には、決して珍しい制度ではないのです。



お知らせ

元気なかつちやの 味自慢うで自慢募集

青森地域農業改良普及センターでは、地域の農水産物を活用した「加工品コンクール」を開催することになりました。

このイベントは、伝統的なもの、独自に開発したもの、販売したいと考えているものなどの加工品（漬物、ジャム、味付け煮、お菓子類など）を募集しておりますので、奮ってご応募ください。

なお、優秀作品は、地域特産品として商品化を目指します。

開催日：平成八年一月二十一日（日）午前九時
場所：アスパム

対象：青森市及び東郡六町村に住む農家、漁家、消費者（グループまたは個人）
募集内容：①「地域の味・技を掘り起こす部門」、②「商品化のためのレベルアップ部門」
出品方法：原則として、展示

及び試食用を当日会場へ持参する。

応募方法：一品目ごとに所定の出品票へ記入し、左記へ郵送または持参する。

応募締切：平成七年十二月十五日（金）

応募・問合せ先：青森地域農業改良普及センター（中央三丁目二十の十二） ☎〇一七七一七三一―三六一

蓬田村農林水産課（二七―二二―一内線二五四）
※出品票については、農林水産課で保管しています。

国民年金保険料

を納めましょう

国民年金の保険料は納めましたが。

国民年金は、老後や万一のときの生活保障として欠かせないものです。保険料の納め忘れがあると、事故など万一のときに障害基礎年金や遺族

基礎年金が受けられなくなったり、未納の期間が長くなると将来、老齢基礎年金さえも受けられなくなることがあります。

保険料の納め忘れがないか、もう一度確かめください。

保険料の納め忘れを防ぐには、地区の納付組織に加入したり、口座振替を利用すれば安心です。

県では、納付組織への加入や、口座振替の利用を促進するためのプレゼント付きキャンペーンを実施中です。

今年の十月十六日から十二月三十一日までに口座振替を申し込むか、納付組織に加入した方から応募を受け、抽選で五十組十名様に国民年金保養センター「つがる富士見荘」（鶴田町）の無料宿泊券を、五十名様にテレホンカードを進呈します。

将来の自分の年金を守るために、くれぐれも納め忘れのないように注意しましょう。

RHマイナス献血 登録者募集

青森県赤十字血液センターでは、Rh（-）の血液型の方

が手術やお産などで輸血用の血液を必要としている場合、県内のRh（-）献血登録者に電話で献血日時等をお話しお願いに応じていただける方のご協力を得て、血液を病院にお届けしております。

Rh（-）の血液型はABO式血液型と同様、輸血をする際には必ず一致していなければなりません。日本人のRh（-）の割合は二〇〇人に一人（〇・五％）ぐらいですから、A（-）の人は五〇〇人に一人、O（-）の人は七〇〇人に一人、B（-）の人は一〇〇〇人に一人、AB（-）の人は二〇〇〇人に一人の割合になります。

突発的な事故や大きな手術また急なお産等の際は、一般の献血者では充分対応できないことが予想されることから、あらかじめ当センターに名前や連絡先などを登録していただいている「献血登録者」のご協力が不可欠です。

しかし、現在の登録者数は各市町村を平均すると一〇〇人程度と少なく、円滑な血液供給をするためには、未登録の方のご参加を賜うことが必要となっておりますので、皆様の温かいご協力をお願い致します。

◆登録できる方

- ・年齢16才～64才の方
- ・健康な方（輸血歴・肝炎歴のない方、常服している薬がない方）

◆お申込み先

- ・青森県赤十字血液センター
- ― 業務課登録係
- 電話 〇一七七一
- 四一―一五一

年末・年始の運転 免許事務について

年末・年始における運転免許窓口事務は、蟹田警察署および青森免許センターとも、平成七年十二月二十八日（木）で終了し、開始日は平成八年一月四日（木）となりますのでおまわりのないようお知らせします。



脱スパイクタイヤ運動
推進月間

お米の流通制度と 農産物検査制度が変わります！

▼食糧管理法から 新食糧法へ

昭和十七年に制定された食糧管理法は、これまで時代の変化に対応して改正が行われてきましたが、近年、米の生産・流通・消費をめぐる情勢が大きく変化してきたこと等を踏まえ平成六年十二月に、現行制度を廃止し、「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（新食糧法）」が成立しました。

▼新食糧法の 基本的考え方

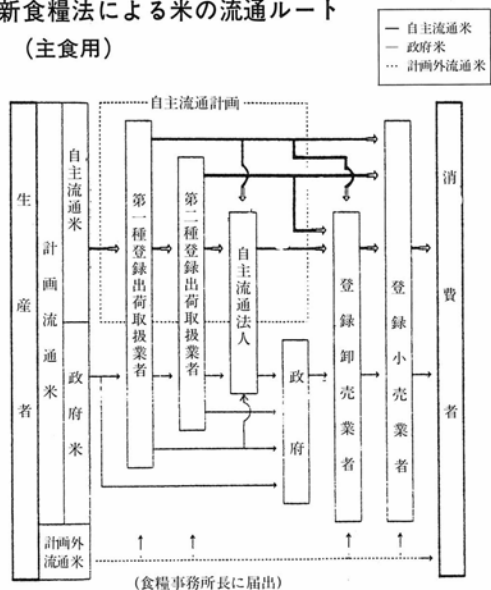
新食糧法は、今後ともお米の需給の価格の安定を図ることを基本として、生産者の自主性を生かした稲作生産の体質強化や、市場原理の導入・規制緩和を通じた流通の合理化等が図られるよう、次の四つの点を骨格としています。

- 1、基本計画（米の需給見通し・生産調整・備蓄の運営等）を作成し、全体需給の調整を図っていきます。
- 2、民間流通による自主流通米を主体とする制度とし、政府は備蓄の運営やミニマム・アクセス（最低輸入量）の運用を行います。
- 3、自主流通米の価格形成が需給実勢を的確に反映したものとなるよう価格形成の場を制度化するとともに、政府米の価格にも自主流通米の価格動向を反映させることとします。
- 4、自主流通米と政府米の安定的な流通を確保することを基本としつつ、流通規制を必要最小限のものに緩和します。

▼改正農産物検査法

新食糧法の下で、新たな米流通システムが発足することを踏まえ、国民の信頼にこたえる適切な検査を通じ、米麦の安定流通の確保を図っていくため、「農産物検査法」が改正されました。

新食糧法による米の流通ルート
(主食用)



※青森食糧事務所
青森市本町二丁目十一(四)七五―二一五(一)

注) 1 上記のほか、加工業者等への流通があります。
2 登録卸売業者、登録小売業者はそれぞれ卸売開買、小売開買を行うことができます。(政令)

▼農産物検査法の 主な改正内容

- 1、計画流通米は義務検査、計画外流通米は任意検査
計画流通米（自主流通米及び政府米）は、引き続き義務検査の対象とし、それ以外の米（計画外流通米）は、当事者の希望により検査を受けることができる任意検査となります。また、麦についても、政府が買入れ・売渡しを行なう麦については、引き続き義務検査の対象とし、それ以外の麦は任意検査となります。
- 2、流通段階の検査の導入
農産物検査は、産地段階の検査を基本としています。流通段階での品質の変化に伴う品位の評価等のニーズにこたえるため、米麦の売買取引業者等の希望に応じて、量目や品位の検査を行なう等の流通段階の検査を導入します。
- 3、成分検査の導入
米の食味を構成している成分や小麦の加工適正と関連する成分について、取引関係者の希望に応じ、理化学分析による検査を新たに実施します。

最低賃金が改正されました。スローガン「守ってネ、時間・約束・最低賃金」

新青森県最低賃金は、十月五日から効力が発生し適用されます。

新最低賃金は、日額で四千四百三十一円に、時間額は五百五十四円となります。

最低賃金制とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度を定め、使用者は、最低賃金より低い賃金で労働者を働かせてはならないと定められたものです。

このため最低賃金は、産業別最低賃金（4業種）が適用される労働者を除き、県内で働くすべての労働者（正職員、パートタイム労働者、アルバイト）とその使用者に適用されることとなります。

なお、十一月二十一日から「最低賃金周知旬間」です。使用者は、最低賃金について常時見易い場所に掲示をするか、その他の方法で周知してください。

最低賃金に関する問い合わせは、青森労働基準局賃金課（〇一七七一―三四四―一一）又は各労働基準監督署まで照会してください。

保証取扱の改正に
ついて
青森県信用保証協会

I 無担保保証、無担保、無保証人保証の保証限度額引き上げ

中小企業を取り巻く厳しい経済環境から、資金繰りが悪化している中小企業の資金調達の円滑化を図るため、政府は中小企業信用保険法の一部を改正し、保証人を必要とする無担保保証と無担保・無保証人の特別小口保険の保険限度額を引き上げました。これは、国の経済対策の一環として実施するもので、国の施策に呼応して青森県信用保証協会でも無担保保証(保

区分	改正後	現行
無担保保証	3,500万円	2,000万円
無担保・無保証人保証	750万円	500万円

種類	区分	所定の保証金	引き下げ後	
			無担保保証	無担保・無保証人保証
普通保証		1.00%	0.95%	0.70%
各種特別保証		0.98%~0.80%	0.93%~0.76%	0.68%

※今回の引き下げ措置は、平成7年11月1日から平成10年3月31日までとなっております。

- 自衛隊生徒 対象
- 対 中卒(見込)十七歳未満の男子
- 受 付 十一月一日(水)〜八年一月四日(木)まで
- ※ただし中学卒業予定者受付は十二月一日(金)から
- 試験日(一次) 八年一月六日(土)
- 募集人員 陸上 約二百五十名 海上 約六十名 航空 約五十名
- 問い合わせ先 自衛隊青森地方連絡部 青森募集案内所 〇一七七(三五)一七五一
- 蓬田村役場総務課 〇二七(二一)一一一

証人必要)及び無担保・無保証人保証の保証限度額を、無担保保証は二、〇〇〇万円から三、五〇〇万円に、無担保・無保証人保証を五〇〇万円から七五〇万円にそれぞれ引き上げし、担保力不足等に悩む中小企業の円滑な資金調達を促進して、経営基盤の安定強化に資するものです。

II 無担保・無保証人保証の対象者の拡大

さらに、無担保・無保証人保証について、製造業、建設業では五人以下が二十人以下に、商業、サービス業では二人以下が五人以下となり対象者の範囲が拡大されました。

III 信用保証料の引き下げ

無担保保証及び無担保・無保証人保証の保証限度の引き上げに加え、中小企業信用保険公庫の信用保険料率の引き下げに連動して、普通保証及び各種特別保証の信用保証料も次のとおり引き下げすることとしました。

実施時間は、何れも平成七年十一月一日からで、青森県信用保証協会としては金融機関、商工団体及び県市町村のご協力を得て積極的な利用促進に努めてまいります。

自衛官募集案内



フグのおいしい季節になりました。フグちり、フグ雑炊、フグのひれ酒などを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。フグ料理のなかでも特にフグの刺し身は有名です。菊の花やクジャクの形に盛りつけたものは、まさに食の芸術品、美食家のあこがれの的です。

フグ

昔は「フグは食いたし、命は惜しし」などと言いました。中国の詩人・蘇東坡がフグを好み、「一死に価す」と言ったことも知られています。でも最近では、フグ中毒の話はあまり聞かれません。これは、フグ調理師の制度が行き渡ったことが一つ、それとフグ料理の主役であるトラフグの七割が養殖物だからです。養殖物は配合飼料の関係で、毒がないからでしょう。

フグが高級魚であることは、いまでも変わりはありませんが、最近ではスーパーなどでパックしたものを買って、家でフグちりを楽しむことができるほど出回るようになっています。また、フグ刺しにたれや薬味を添えたセットや、フグちりセットの宅配サービスもあります。

フグのことを、「ふく」と呼ぶ地方もあります。日本一のフグ市場である山口県下関市でも「ふく」と言います。これは「福」に通じるからともいわれていますし、フグは海底で腹に水を吸い込んで吹き、砂を飛ばしてえさを取るからだともいわれます。

ところで、十二月一日は「省エネルギー総点検の日」です。家族で話し合い、一人一人が省エネに気を配るようにしたいものです。





瀬辺地地区婦人防火クラブ（越田恵子会長）は夜間の巡回を拍子木を手に毎月二回（1日と20日）実施し、防火を呼び掛けています。ほんとうにご苦労さまです。

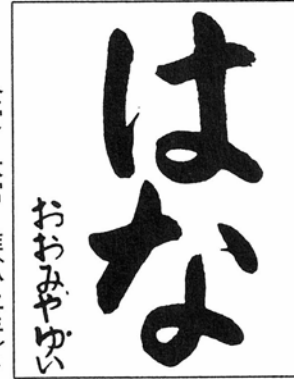


「むめい橋」という名の橋を見つけました。この橋は阿弥陀川から大倉岳に向かう途中にあり、昨年、営林署が完成させた三つの橋の内一つで、他の二つには沢の名がついています。

みつけた 95・96

第31回 青森県

国民年金習字 作品展で入賞



第三十一回国民年金習字作品展に蓬田小学校の児童が作品を出品したところたくさんの方の入賞者がありましたので紹介します。

金賞 大宮 唯(小二年)さん

- 入賞したみなさん
半紙の部
金賞 大宮 唯(小二)
銀賞 八戸 智子(小六)
銅賞 やまだてさお(小一)
佳作 さかもとひでたか(小一)
八幡 徹(小三)
八戸 祐人(小四)
山館 由佳(小五)
久慈 育代(小六)
条服の部
佳作 田中 馨子(小三)

除雪に協力を 建設課



除雪期間中は、道路上には障害（特に自動車の駐車）となるものは置かないように。道路外であっても、破損のおそれのあるものは標識等により危険表示してください。また、除雪後の道路に雪を投げ出さないようにしましょう。

12月行事予定表										日	曜日	行事	担当	
26	25	23	22	19	18	12	11	5	4	3				
火	月	土	金	火	月	火	月	火	月	日				
陶芸教室 9時	書道教室 13時30分	スキー場開き	小・中学校終業式	陶芸教室 9時	書道教室 13時30分	乳児健診 13時	高齢者教室しめ縄づくり	陶芸教室 9時	書道教室 13時30分	陶芸教室 9時	書道教室 13時30分	日曜開館		
中央公民館	中央公民館	社会教育課	小・中学校	中央公民館	中央公民館	民生課	中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館		

けっばる蓬田人

37年目の小さな同窓会

柿崎 昇(東京都在住)さん



きっかけは、広瀬在住の田中誠一君からの電話「今、仕事で東京に来ている。」であった。せっかくの機会だからと思い立ち、帰郷の際入手した九年前の同窓会名簿を手掛りに、心当たりに電話連絡：十日後の八月二十七日(日)JR川崎駅改札口前昼十二時集合と決った。当日も相変わらずの猛暑である。三十数年振りに会う人もいる。はたして顔が判るかナ；等々の心配は杞憂に終わった。居た！〇〇君だ！来た！〇〇さんだ。

なつかしい相手を互いに確かめ合うのも束の間、忽ち津軽弁。約束の六名全員集合時間に余裕をもっての再会。早急、越田勇君の手配した駅ビル内にある中華料理店へ。持参した小学校(昭和三十年三月卒業)中学校(昭和三十三年三月卒業)の卒業記念写真の懐かしい顔！顔を虫眼鏡で探しながら、故郷「蓬田」の事。同級生の事。先生の事。お互いの近況等々、頭に白いものが目立つ三十有余年の歳月の隔たりを一気に縮める為なの

か、語っても語っても話が尽きない。再会を約束して解散したのが夜八時近く…。生涯の思い出となる、まさに「夏の昼さがり：否、夜」であった。

【お願い】
昭和三十二年度蓬田中学校卒業の首都圏在住の方の情報をお待ちしております。
〒一九一東京都日野市落川
一四〇の七一
TEL〇四三(五九三)七七四九
拙宅迄

戸籍の窓



人口と総世帯 (10月31日現在)

総人口 3,834人
男 1,832人
女 2,002人
世帯数 1,042世帯

9・10月受付分

お誕生おめでとうございます

浅利 詩穂 (雅信) 2女
かおり
木浪 麻里香 (弘記) 2女
尚子
福井 美優 (幸正) 長女
恵美子

ご結婚おめでとうございます

(田中 延人(今別町))
(若山 登和子(蓬田))
(福井 明彦(郷沢))
(小鹿 智美(長科))

おくやみ申し上げます

山館 耕(瀬辺地) 20歳
田中 とし(瀬辺地) 79歳
杉田 忠(瀬辺地) 65歳
名古屋きね(中沢) 63歳
越田慶次郎(瀬辺地) 81歳
川内 鐵彌(阿弥陀川) 62歳
坂本 とし(中沢) 85歳
稲葉 常蔵(高根) 85歳